

平成 29 年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)

自己評価

事務事業
番号

32

事業区分	行政事務	事務事業評価の履歴				有
事務事業名	配偶者からの暴力防止の支援事業					
予算科目	3 款 1 項 1 目					
予算事業名	社会福祉総務費					
総合計画での位置づけ	安全なまちをつくる					
担当課	健康福祉課	担当課長	國壽 和幸			
事業担当者	城戸 智美	一次評価者	阿部 哲也			
事業の性格	自治事務					
法令根拠等	配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律					
事業の対象	配偶者等からの暴力に悩む女性					
事業の目的	配偶者等からの暴力などに悩む女性を対象に、権利擁護及び人権の保障を行うための相談専用電話窓口を常時開設する。久山町単独では運営が難しいため、粕屋地区合同で専門機関に委託する。					
実施期間	開始年度	平成 15 年度から				
	終了年度	平成 年度まで				
事業の内容	NPO法人福岡ジェンダー研究所と粕屋地区1市7町で「かすや地区女性ホットライン」の事業委託契約を締結し、電話による相談窓口を開設し、助言、情報提供及び専門機関等の紹介を行っている。					
目的達成の指標	相談件数					
	区分年度	単位	28 年度	29 年度	30 年度	31年度
	目標	件	5	5	5	5
	実績	件	3	2		
指標設定の考え方	暴力等で悩む女性が気軽に相談できる場の提供ができていますか。					
事業遂行時懸案事項等	事業がどのくらいの人知っているのか。					
事業実施時懸案事項対応等	事業周知方法を工夫していく。					

PLAN(計画)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 92 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項 目	28 年度予算	29 年度予算	30 年度予算	31 年度予算
事務量	① 人工数	0.04	0.06	0.06
	② 人件費単価	7,289	7,381	7,350
	③ 補助事業人件費			
	人件費(①×②-③)	291	442	441
事業費	直接事業費	366	366	366
	人件費	291	442	441
	合 計	657	808	807
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	657	808	807
合 計	657	808	807	807

事業費計画

(千円)

区分/年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
目 標	366	366	366	366	
実 績	365	366			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
かすや地区女性ホットライン周知カードの設置個所	件	2	2	5	6
		2	2		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 90 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項 目	28 年度決算	29 年度予算	29 年度決算	
事務量	① 人工数	0.04	0.06	0.06
	② 人件費単価	6,768	7,381	7,129
	③ 補助事業人件費		0	
	人件費(①×②-③)	270	442	427
事業費	直接事業費	365	366	366
	人件費	270	442	427
	合 計	635	808	793
財源内訳	国庫支出金		0	
	県支出金		0	
	地方債		0	
	その他		0	
	一般財源	635	808	793
合 計	635	808	793	

実施備忘録

自己評価	評価者	城戸 智美
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	3	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。	3	C
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	3	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	3	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	3	B
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	C
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	4	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 重点化	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持	<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

配偶者等からの暴力などに悩む女性が対象であり、久山町単独で実施するには対象者が少なくセンシティブな問題を含むため、糟屋地区合同で行うことで第三者的かつ専門的知識をもつ相談員を配置でき、また、相談者の匿名性を維持した相談窓口として確保できている。
ニーズの高まりというよりも顕在化することにより今後件数が増える可能性があり、事業継続の必要性を感じる。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

相談件数の実績数としては少ないが、匿名性のある相談であるため住まいを特定できない隠れた実績があるのは否めない。肝心なときに相談できる手段として目につく周知を図っていく必要がある。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

一次評価	評価者	阿部 哲也
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ↔ 小 1 ↓

項目	評点	判定	
1. そもそも必要な事業か？	3 4 4 4	B	
2. 町が実施する必要があるか？	3 3 3		C
3. 実施内容は適切か？			
①有効性	3 3 3		
②効率性	3 3 3	C	
③公平性・透明性	4 3 3		B

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了

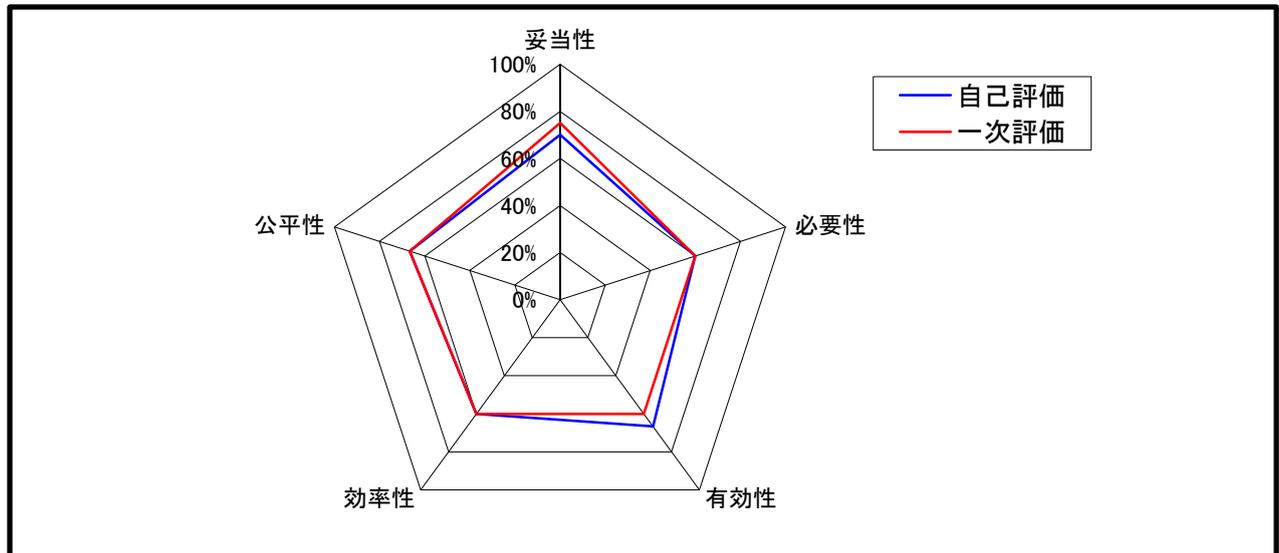


見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

配偶者等からの暴力などに悩む女性の相談場所は、役場窓口では専門性が乏しいため、専門的知識を持った相談員が対応をされる女性ホットライン事業は必要であると考えます。
また、潜在的なDV被害者へのこの事業の周知は重要であるため、周知方法の調査検討は必要である。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

二次評価	評価者	國崎 和幸
------	-----	-------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

非常にデリケートな問題であるため、周知方法は、町が知りえた情報に基づかず、あくまで、相談できるホットラインの情報等をオープンにして事業の継続を行う。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
月 日
までに事務局へ提出すること。



- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定



- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

事務事業の改善案

手段	
内容	

ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

外部評価委員の意見

--

経営者会議

経営者評価	
-------	--

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

経営者会議の評価

--